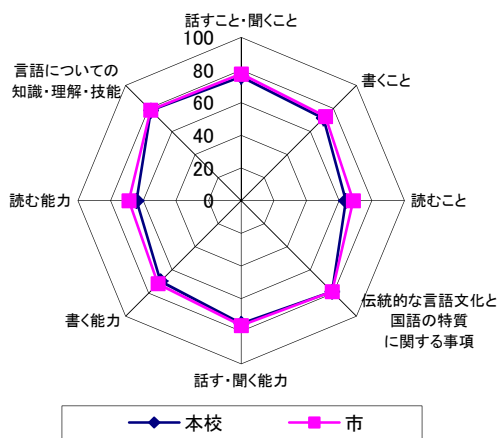


宇都宮市立田原中学校 第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	76.0	77.6	76.3
	書くこと	71.4	73.0	56.1
	読むこと	64.1	68.8	63.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	78.8	78.8	71.6
観点別	話す・聞く能力	75.3	76.5	75.4
	書く能力	69.8	72.0	58.1
	読む能力	64.1	68.8	63.9
	言語についての知識・理解・技能	78.1	78.4	70.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	●本校の正答率は76.0%で、市の平均と比べ1.0ポイント下回っている。 ●話し合いの内容を聞き取る問題では、領域全体を通して市の平均を0.3～5.9ポイント下回った。 ○「司会者の工夫を聞き取ることができる」では、市の平均を0.5ポイント上回った。	・今後も、定期テストや問題の演習において様々な内容の「聞き取りテスト」を実施し、内容に合った聞き取り方を学習させていきたい。 ・活動では、メモを取りながら大切なポイントを整理していく能力を高めたい。 ・スピーチや意見文の発表の場を授業に位置付け、要点を書き留めたり、自分の意見や感想を加えて評価したりする習慣を定着させたい。
書くこと	●本校の正答率は71.4%で、市の平均と比べ1.6ポイント下回っている。 ●「指定された文字数で書く」が、6.5ポイント、「3段構成で文章を書く」が、6.6ポイント、「自分のとった立場の理由を書く」が、0.4ポイント、それぞれ市の平均を下回った。 ○「自分の立場を明確に書く」が4.6ポイント、「文章の内容にあったまとめを書く」が、1.0ポイント、市の平均を上回った。	・「指示された条件」を理解し、それに合わせて文章を書く力は身に付いてきている。さらに、自分の意見や考え（主張）を根拠をもって文章化する演習や、添削の学習活動を多く取り入れて力を伸ばしたい。
読むこと	●本校の正答率は64.1%で、市の平均と比べ4.7ポイント下回っている。 ●「説明文の内容を読み取る」では、「文章の展開をとらえてその内容を理解してまとめる」と「文学作品の内容を読み取る」では、「登場人物の心情をとらえる」が、市の正答率を大きく下回る結果となっている。	・説明的文章においては、キーワードやキーセンテンスに着目して文章の構成や要点を整理してまとめたり、段落相互の関係を意識して展開を捉えたりする指導に重点を置いて指導したい。 ・読書活動の推進を図り、読書を通して心情の読み取りや場面の展開に即して読み深めたりできる力を高めさせたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○本校の正答率は78.8%で、市の平均と同じであった。 ○「第3学年までに学習した漢字を読む」と「小学校で学習した漢字を書く」の正答率は、市の平均を大きく上回った。 ●市の正答率をやや下回ったのは、「脈絡」と「迎える」の読みであった。	・授業の中で、漢字小テストを継続して実施し、漢字への関心・意欲を高めるとともに、誤答や間違えやすい漢字の反復練習しながら漢字力の向上と定着を図るようにしたい。 ・敬語においては、日常生活の会話の中で定着を図り、古文においては、歴史的仮名遣いや文語文法、主語とらえ方、助詞・助動詞などの問題の演習を行いながら基本を身に付けていくことで、さらに内容の読解力を高めたい。